

「北海道ドローンフォーラム2022」アンケート回答

	質問内容	回答内容
1	現在、添乗員として観光に携わっていますが、観光としてどのように活用し、結びつけていくことができますか。また、上士幌町以外で観光で活用しているところはありますか。	現状では個人での空撮やPR素材でのメインとなりますが、今後、集合写真やアクティビティ体験の撮影、観光地での配送や警備、遠隔ツアーなどでの活用が考えられます。 上士幌町以外での活用は、十勝地区でアウトドア観光推進に関して活用されています。 https://www.hkd.meti.go.jp/hokcf/20220304/index.htm
2	ひび割れ点検、浮き点検、洗掘点検の実績をお聞かせください。	建設業ではドローンの導入は早くから進んでおり、ひび割れ点検、浮き点検、洗掘点検においては、既に多数の実績があります。
3	上士幌町のドローンショーに使われた機種は何ですか。	上士幌町のドローンショーは、(株)レッドクリフが実施しており、同社のHPに機種情報が記載してあります。 https://redcliff.xyz/
4	ドローン協会様の説明と会場内配布パンフレットにより、最新の法規制や今後の見込み等が理解出来て有意義でした。疑問としては、工事中を含む建築物内部に関して、例えば建物内部改修の施工状況確認や不特定多数が集まるイベントでの飛行（撮影）に関する規制などはあるのでしょうか。	建物内部改修時については、建設作業用ネットや天井で覆われており、外部に出ない環境であれば、規制対象とはなりません。一方、イベント上空、DID地区（人口密集地区）などは航空法の規制対象となり、飛行の際には申請が必要となります。
5	法改正で資格取得が難しくなりますか。 また、法改正前後のどちらで資格を取得するべきでしょうか。	国のライセンス取得は、現行の民間ライセンスに比べ、学科、実技ともに講習所要時間が増加する見込みです。 ライセンス所有者も該当する「経験者」であれば、必要な講習時間が短くなりますが、現時点では、法改正前に民間ライセンスをとった方が良いか明確にお答えできません。 ライセンスについては、別途情報をとりまとめているので、下記のリンク内を参照ください。 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/df/drone/110238.html
6	赤外線ドローンの活用事例はありますか？	環境生活部ではヒグマ対策の実証で活用しており、夜間の遭難救助を行うナイトホークスなどで活用されています。 ヒグマ対策実証： https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/114084.html ナイトホークス： https://japan-innovation-challenge.or.jp/
7	大型ドローン（農業散布ドローン）以外（ファントム4等）で種子や薬剤等の散布事例はありますか？	積載の観点からも、空撮用のドローンを改良して散布等に使用しているドローンはないと思われます。
8	公共施設等での練習機会や場所が限られています。	道内におけるドローン実証フィールドの情報を集め、情報展開していく予定です。
9	グリーンレーザで、沼等の湖底地形を測定できますか？	現在調査中です。
10	操縦免許等に「欠格事項」等がありますか？	現在調査中です。